

西 邑 楽 高 等 学 校 学 校 評 価 一 覧 表 ② (平成27年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題	
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目		①				②
Ⅰ 特色ある学校づくりを推進する。	1 学力向上を根幹として、各学科(普通科、スポーツ科、芸術科)の目標達成に相応しい教育課程を編成・実施する。	・習熟度別授業(数学・英語)に85%の生徒が満足している。 ・専門教科の授業に85%以上の生徒が満足している。		A	A	A	<p>現状に満足することなく、アクティブラーニング等に取り組み改善に努めてほしい。 スポーツ科が取り組んでいる地域の小学校との連携授業などの専門学科の授業は大きな成果を上げており、今後も継続してほしい。</p> <p>授業観察や生徒会本部役員との懇談等からも、生徒が充実した学校生活を送っていることがよくわかる。</p>	<p>数学、英語の習熟度別少人数制授業やスポーツ科、芸術科の専門科目において、効果的な指導について教科内で見直しを行い、さらに内容を充実させる。</p> <p>学校目標の実現に向けて、職員個々がすべきことをよく考え、自己目標を設定する。</p> <p>面談等の充実により、生徒が学校生活の様々な場面で自己肯定感を感じられるよう支援していく。</p>
	2 全職員が学校課題について共通理解を持ち、組織的な指導を展開する。	・各職員が「本年度の重点目標」、「羅針盤」を指針として自己目標を設定し、教育活動の改善に努めている。		B	B	B		
	3 生徒の信頼に応える指導を基本とする。	・自分の学校を好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。		A	A	A		
Ⅱ 生徒に健全で意欲的な学校生活を送らせる。	4 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。	・登校時指導等を通じて、あいさつ・服装・遅刻防止に関する指導を進め、生徒のあいさつができてきているという評価が70%以上(教職員アンケートによる)、服装頭髪指導の係指導の対象となる生徒が10名以下、遅刻指導該当者が年間15名以下である。		A	A	A	<p>高校生として 目標数値はすべてクリアできた。服装・遅刻指導に関して意識を高める工夫が必要かと思われる。</p> <p>過失事故や重大事故に関しては「0」であった。結果だけではなく、意識を高めることが重要と思われる。</p> <p>生徒会の大きな行事として校内文化祭が行われた。生徒の主体性を引き出し達成感を持たせることが大事である。</p> <p>一生懸命に取り組んでいる生徒が多数いる。充実感を持たせるために充実した指導と環境を整えることが必要である。</p>	<p>目標数値はすべて達成できた。服装・遅刻指導に関して意識を高める工夫が必要である。</p> <p>高校生として交通マナーに関する意識を高め、自らの安全を守ると共に周りに対する心遣いのできる生徒を育てる。</p> <p>蒼流祭に向けて生徒主体の取組を考えていきたい。</p> <p>充実した指導と活動するための環境を整える。</p>
	5 交通安全の意識を喚起し交通ルール・マナーの向上を図る。	・自転車点検や事故防止啓発活動を通じて、過失事故や重大事故を「0」にする。		A	A	A		
	6 生徒会行事等の内容充実を図り、生徒の自主性を伸ばし達成感を得させる。	・体育祭や送別会等の生徒会行事に満足している生徒が85%以上である。		B	B	B		
	7 部活動の振興に努め、活気ある学校づくりを進める。	・部活動に加入している生徒が、70%以上であり、充実していると感じている生徒が70%以上である。		A	A	A		
Ⅲ 生徒に確かな学力・豊かな心を身につけさせる。	8 双方向の授業への取組を進める。また生徒一人ひとりに対応した指導を行う。	・学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。		B	B	B	<p>授業においてきめ細やかな対応を行っていることは評価できる。今後も思考力や表現力の向上に向けて、アクティブラーニング等に積極的に取り組んでほしい。</p> <p>形式的ではなく、自主的に学習に取り組む生徒の育成に向けた工夫を重ねてほしい。</p>	<p>ステップアップサポート事業により、さらに授業改善の研修を充実させ、全職員の意識と教科指導力の向上を図る。授業アンケートの結果を効果的に活用し、生徒が生き生きと参加できる授業を目指す。</p> <p>学習意欲を高めるため、教務部と進路指導部が連携して進路や科目選択のためのガイダンスを充実させる。教科においても授業内容や課題の出し方を工夫していく。</p>
	9 授業時間を確保する。また、授業と家庭学習を結び基礎的な学力を定着させる。	・生徒の家庭での1日の平均学習時間は、1・2年生で80分以上である。 ・実用英語技能検定の合格者が、2級5名、準2級30名以上である。		C	C	C		
	10 継続的な読書を通じて知的・感性的に自らを鍛える習慣を育てる。	・「朝の読書」を含め、生徒が1年間に12冊以上の本を読んでいる。		B	B	B		
Ⅳ 生徒に進路目標を達成させる。	11 自らの進路への関心・意欲を高揚し、学習意欲の向上を図る。	・将来の職業や卒業後の進路について考え、進路実現のための課題を意識できた生徒が80%以上である。		A	A	A	<p>生徒の進路目標の実現に向け、今後も指導の工夫を重ねてほしい。</p> <p>地域社会とのつながりを意識し、キャリア教育の充実にも取り組んでほしい。</p>	<p>進路実現のための進路指導・進路行事のさらなる充実を図るとともに課外への参加率アップなど学力の向上に努める。</p> <p>進路行事の内容などの向上に努める。</p>
	12 進路指導に関する情報を共有し3年間を見通した体系的な指導を行う。	・進路を考えるのに進路関係の行事や学習が役立っていると思う生徒が80%以上である。		B	B	B		
Ⅴ 生徒の心身ともに健康で安全な生活が送れるように	13 生徒自ら健康の保持増進に努める姿勢確立のため自己管理に関する指導を進める。	・生徒の健康診断に基づく受診率50%以上である。 ・熱中症やインフルエンザの予防に関する情報提供を適切に行う。		B	B	B	<p>いじめや不登校に対してきめ細やかな対応を行っていることは評価できる。今後も継続して未然防止に努めてほしい。</p>	<p>生徒の健康診断に基づく受診率向上を目指す。 熱中症対策をさらに進める。</p> <p>心の問題に目を配り不登校やいじめの早期発見に努める。</p>
	14 心身の健康問題を抱える生徒への適切な対応や指導を行う。	・不登校の生徒0を目指す。 ・いじめの未然防止に努め、いじめの問題解決率100%を目指す。		B	B	B		
	15 学びの場としての教室等の環境の整備・美化に努める。	・校舎校庭の清掃・美化に努める。		B	B	B		
Ⅵ 開かれた学校・信頼される学校づくりを進める。	16 保護者との共通理解を促進する。また、地域社会との連携を図る。	・PTA総会、専門学科ガイダンスに積極的に参加している保護者が、前者が50%以上、後者が、80%以上である。		B	B	B	<p>定着に難しい点もあるが、連携を軸にしたボランティア活動やリサイクル運動に取り組み、地域に根ざした活動を行ってほしい。</p> <p>これまで以上に地域に信頼される学校となるために、小中学校や地域との交流活動に積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>・保護者や地域から信頼される学校となるために、家庭や地域と連携した活動の工夫に取り組む。</p> <p>・Webページの充実にも努め、迅速かつ的確な情報提供に努める。</p> <p>・職員研修の充実や服務規律たより等による情報共有に努め、継続して組織的な授業改善や服務規律の確保に取り組む。</p>
	17 webページやオープンスクール等により学校の活動を公開し、外部の意見を取り入れる。	・学校のwebページを月2回以上更新している。オープンスクールで「学校の様子がわかった」と80%以上の参加者が答えている。		A	A	A		
	18 校内研修等を通じて職員の使命感の自覚、指導力の向上等に努め、信頼に応える。	・服務規律に関する啓発を職員会議等で年10回以上行う。 ・教科・科目の枠を超えた研究授業、授業研究に全職員が参加し、授業力の向上を図る。		B	B	B		